

プラ容器のリサイクルは正しい分別から

—循環型社会の形成に向けて—

市では、家庭から出るごみの減量、リサイクルの促進を目的として「プラ容器」の分別回収を実施。広報まえばしやリサイクル情報紙「へらすんべえ」で啓発をしていますが、完全に分別できていない状況があるようです。みんなが正しく分別するためにもう一度プラ容器分別について学んで、より正しい分別をしましょう。

担当は市民編集委員、五明・杉崎。

問い合わせは
清掃業務課 ☎898-6272



異物を取り除く作業員

プラマークを確認しよう

■プラ容器とはなんですか？
プラ容器とはプラスチック製容器包装の略語です。例えば、商品を入れたり、商品が入っていたりするプラスチック製の容器包装を指します。

■ちよつと待って、それはプラ容器？確認しようプラマーク
プラ容器分別の際に重要なことは「プラマーク」が付いているのを確認すること！「これはプラ容器かな？」とプラマークを確認せずに捨ててしまったことはありませんか？プラ容器には必ず「♻」があります。捨てる時には、しっかり確認してから分別することを心掛けましょう。

リサイクルの現場をレポート

■プラ容器の行方
市内で回収されたプラ容器は荻窪清掃工場へ運ばれていきます。ここでは、不燃ごみ・粗大ごみ・資源ごみを処理。プラ容器は選別

リサイクルへプラ容器がたどる道

荻窪清掃工場でのプラ容器の処理を追いかけました。
①分別回収されたプラ容器は、工場に着いたら最初に計量。トラックごと計り、プラ容器を降ろした後にトラックだけを計量してトラックの重さを差し引きします。



最終処分場を1年でも長く使うために



積み立てられたベール。この後、再生工場に運ばれる

②機械で袋を破り、異物除去コンベアに乗せます。
③数人の従業者によってリサイクルできない不適物を手作業によって除去。
④不適物を除去されたプラ容器は、機械で圧縮し梱包して、「ベール」になります。ベールは1個当たり300キログラム。富山市にある再生工場に毎日運ばれ、プラスチック製品（くいやベンチ）に生まれ変わります。

正しい分別がエコにつながる

■プラ容器は洗って出して！

荻窪清掃工場の取材中、すっぱい臭いがしました。その臭いの原因は「生ごみ」だそうです。では、なぜプラ容器に生ごみが混じっているのでしょうか？答えは、コンビニ弁当の食べ残しが残ったままプラごみとして捨てられたり、ケチャップやプリンなどの残りが容器に付いたまま捨てられたりしてしまうからです。

プラ容器の中に食品が残ったままだと、ごみを圧縮した時に中身がはじけて、ほかのプラ容器まで汚れてしまいます。そうなるよりサイクル業者に引き取ってもらえず、せつかく分別したプラ容器もリサイクルが出来なくなってしまうのです。
リサイクルするため、汚れが付いた物は洗ってからプラ容器として捨てましょう。汚れがひどい場合や、ケチャップやマヨネーズのチューブなど洗えない物は、可燃ごみとして出しましょう。

食べ残しや中身が残っているごみ！
これらは可燃ごみ！



■プラ容器の日はプラ容器だけ！曜日もしっかり確認を！

プラ容器にプラ以外のものを混ぜないこと、そして曜日を確認してからごみ集積所に出すことは、気をつければ誰にでもできることです！
プラ容器の日に出されたごみの

編集 後記

取材の時に「一人暮らしの大学生が、ごみの分別をあまりしていない」という話を聞きました。私自身ももっとしっかり分別の意識を持ち、大学の中でも、もっとごみの分別の意識を持つように友人に呼び掛けていきたいと思えます。